（様式1）

初版からの修正箇所（1箇所）

・28ページに、「※注１」を追加（「③支援に要する経費（1件あたり）」の単価の計算方法について補足）

**日本医療研究開発機構　生命科学・創薬研究支援基盤事業**

**事業提案書**

|  |  |
| --- | --- |
| 補助事業課題名（英語表記） | ○○○○の支援Support of ○○１－１～８（７－１及び７－２を除く）までの公募番号を必ず記載ください。 |
| 公募名（事業名） | 生命科学・創薬研究支援基盤事業 |
| 公募の課題区分 | （○）○○ユニット　 | 公募番号 | ○-○公募要領に記載のある公募補助事業課題名を記載ください。 |
| 公募補助事業課題名 | ○○の支援と高度化 |
| 事業期間 | 令和XX年 X月 X日 ～ 令和 XX年 X月XX日（X年間） |
| e-Rad研究分野（主）キーワード | ○△□、○□△（※e-Radの研究分野（主）の「キーワード」を記載） |
| 補助事業代表者 | 氏名 | （フリガナ） | ○○○○　○○○○ |
| （漢字、ローマ字表記） | ○○　○○ Yyyy Yyyyyy |
| 所属機関（正式名称） | ○○法人○○大学 |
| 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX |
| E-mail | YYY@YY.jp |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役職 | ○○ |
| 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局）・連絡先等 | ○○大学管理部○○課電話番号：XX-XXXX-XXXX FAX番号：XX-XXXX-XXXXE-mailアドレス：YYY@YY.jp |
| 補助事業分担者※ | 氏名 | （フリガナ） | ○○○○　○○○○ |
| （漢字、ローマ字表記） | ○○　○○ Zzzz Zzzzzz |
| 所属機関（正式名称） | ○○法人△□大学 |
| 住所 | 〒XXX-XXXX ○○県○○市○○町・・・・ |
| 電話番号 | XX-XXXX-XXXX |
| E-mail | YYY@YY.jp |
| 所属部署（部局） | ○○学部○○学科 |
| 役職 | ○○ |
| 経理事務担当者氏名 | ○○　○○ | 経理担当部署（部局）・連絡先等 | ○○大学管理部○○課電話番号：XX-XXXX-XXXX E-mailアドレス：YYY@YY.jp |

※ 研究開発分担者等は全ての分担者について記載してください。また、人数に応じて適宜記載欄を追加してください。

注 提出する際には、青文字の記載例と緑色吹き出しの説明文を削除してください。

**各年度別経費内訳**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 委託費※1 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計※2 |  |  |  |  |  |  |
| 一般管理費※3（上記経費の10%以内） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

（単位：千円）

※1 分担機関へ事業費（一般管理費を含む）の一部を配分する予定の場合は、「その他」の「委託費」として計上してください。

※2 直接経費の総額（小計）は、**「支援」に要する経費（基準額）の2倍の額を超えない**ように計上してください。「支援」に要する経費（基準額）は、別紙4に記載されたものを基準額とします。

※3代表機関及びすべての分担機関へ配分される**一般管理費の合計額が事業費（直接経費）総額の10%以内に収まるよう**調整のうえ計上してください。

**各年度別経費内訳【詳細版】**

★別紙4の様式を用いて作成してください（必須）。

**補助事業代表者及び補助事業分担者**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 氏名 | 所属機関※1 | 現在の専門 | 令和4年度事業経費※２（千円） | エフォート※３（％） |
| 生年月（年齢:令和4年4月1日時点） | 所属部署（部局）※1 | 学位（最終学歴）学位取得年 |
| 研究者番号 | 役職※1 | 役割分担 |
| 補助事業代表者 | ○○　○○ | ○○○○大学 | △△△ | X,XXX | XX |
| S49/11（XX） | △△△学部△△△学科 | △△博士（○○大学）H14年 |
| 12345678 | △△△ | 研究の統括 |
|  |  | （主たる事業実施場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 補助事業分担者 | □□　○○ | △□大学 | □○□ | X,XXX | XX |
| S50/11（XX） | △△△学部△△△学科 | ○○博士（□△大学）H15年 |
| 98765432 | □□□ | データの解析 |
|  |  | （主たる事業実施場所）※1△□大学 |  | X,XXX | XX |
| △△△学部△△△学科 |
| □□□ |
| 補助事業分担者 |  |  |  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
| 計　2名 | 事業経費合計 | X,XXX |  |

※1　所属機関と主たる事業実施場所が異なる場合は、主たる事業実施場所となる研究機関、所属部署（部局）及び役職も記載してください。

※2　事業経費については、直接経費を記載してください。

※3　「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。（2 事業計画・方法に記載されるエフォートとは算出方法が異なりますので注意ください。）

# 1　事業目的、必要性及び特色・独創的な点（2ページ程度※で記載）※公募番号1－1及び2－1は3ページ程度で記載

■本事業における「支援」「高度化」「人材育成」「BINDS司令塔・調整機能としての活動」の目的、必要性及び特色・独創的な点にについて、適宜文献等を引用しつつ、具体的かつ明確に、評価者が理解しやすいように、記載してください。また、必要があれば、図や表（字数には含まず）を用いても構いません。

■本事業計画について現在までに行った研究等、研究の最終的な目標を達成するのに必要な他の研究計画（公的資金又は民間資金による研究）と本事業計画の関係を明確にしてください。

■本事業の実施予定期間内に何をどこまで明らかにするか・支援するかを明確にしてください。

■提案される事業の特色・独創的な点については、国内・国外の他の研究等でどこまで明らかになっており、どのような部分が残されているのかを踏まえて記載してください。

■応募するユニットに設定された「応募要件」を満たしていると判断した理由を記載してください。（全課題記載必須）

（1）支援

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（2）高度化

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（3）人材育成

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

事業全体の成果最大化に向けて、事業内に司令塔・調整機能を設置する予定です。本事業に採択された場合、司令塔・調整機能への参画を必須としますが、どのような貢献が可能か、貢献によりどのような成果が期待できるか等について記載ください。

（4）BINDS司令塔・調整機能としての活動

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（5）応募するユニットの「応募要件」を満たしていると判断した理由

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

# 2　事業計画・方法

## （1）要約（英文・和文）＜別紙1参照＞

## ■要約（英文・和文）は、別紙１として添付してください。

# （2）事業計画・方法（4ページ程度※で記載）※公募番号1－1及び2－1は6ページ程度で記載

■事業目的（「支援」「高度化」「人材育成」「BINDS司令塔・調整機能としての活動」）を達成するための具体的な研究計画及び方法を4ページ程度以内で記載してください。

■事業計画を遂行するための実施体制について、「補助事業代表者」、「補助事業分担者」等の具体的な役割・実施内容を明確に記載してください。

■複数年度にわたる事業の場合には、事業全体の計画と年次計画との関係がわかるように記載してください。特に、「高度化」については、年次計画をマイルストーンも含めて詳細に記載してください。

■本事業を実施するために必要な研究施設・研究員の確保等、現在の研究環境の状況を踏まえて記載してください。

■本事業を実施するにあたり、4つの役割（「支援」「高度化」「人材育成」「BINDS司令塔・調整機能としての活動」）に対するエフォート配分を記載ください。（※本事業に参画する研究者の本事業に対するエフォートの総和を100%とした場合に、「支援」への配分を50%以上、「人材育成」への配分を5%以上、「BINDS司令塔・調整機能としての活動」への配分を5%以上とすることが求められます。）

■支援についての事業計画のうち、令和4年度に予定されている支援内容については、別紙5にも必ず記載ください。

■事業の目的、方法及び期待される効果の流れ図を記載又は添付してください。

■その他、事業の主なスケジュール（ロードマップ）とマイルストーン、実施体制図等は、それぞれ別紙2、3として添付してください。

（1）支援（エフォート：○○%）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（2）高度化（エフォート：○○%）

（事業全体計画）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（年次計画）

令和4年度：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和5年度：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和6年度：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和7年度：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

令和8年度：○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

（3）人材育成（エフォート：○○%）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

現時点では、詳細な計画の記載は不要です。ただし、以下の項目については必ず記載し、エフォートを5％以上割り当てるようにしてください。

（必須記載事項）

●PS・PO及びAMEDの指示の下、事業全体の成果最大化に向けた様々な活動に参加・協力する。

●定期的な会合（月に1回以上）に出席する。

（4）BINDS司令塔・調整機能としての活動（エフォート：○○%）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

※別紙に記載する文字数は制限ページ数に含まない

（例）別紙2　研究開発の主なスケジュール

（例）別紙3　実施体制について

・

・

・

# 3-1　研究業績

■「補助事業代表者」及び「補助事業分担者」ごとに、それぞれ学術雑誌等に発表した論文・著書のうち、主なもの（過去５年間）を選択し、直近年度から順に記載してください。また、この提案課題に直接関連した論文・著書については、「●」を付してください。

■特許権等知的財産権の取得及び申請状況、並びに研究開発課題の実施を通じた政策提言（寄与した指針又はガイドライン等）を記載してください。

## （1）補助事業代表者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Marusankaku, J.Aaaa, H.Bbbbb, A.Ccccc, Treatment of Hepatic……, Nature, 2020 , 1,10-20

M.Marusankaku, T.Aaaa, A.Bbbbb, T.Ccccc, Risk factors for Fungal…, Nature, 2019, 2,17-26

＜特許権等知的財産権の取得及び申請状況＞

＜政策提言＞

○○○○○○ガイドライン（○○学会編　XXXX年）

## （2）補助事業分担者　○○　○○

＜論文・著書＞

●M.Kakukaku, T.Dddd, A.Eeee, T.Ffff, Study on Hepatitis…………, Nature, 2020,12,32-40

M.Kakukaku, T. Dddd, A. Eeee, T.Ffff, Study on Malaria………, Nature, 2019,10,45-54

（Researchmapのテキスト出力を貼り付けた例）

Non-negligible collisions of alkali atoms with background gas in buffer-gas-free cells coated with paraffin

Applied Physics B-Lasers and Optics 122(4) 81-1-81-6 2020年3月

Laser frequency locking with 46 GHz offset using an electro-optic modulator for magneto-optical trapping of francium atoms

Applied Optics 55(5) 1164-1169 2020年2月

Atomic spin resonance in a rubidium beam obliquel

# 3-2　研究支援能力及び研究支援実績（2ページ程度※で記載）※公募番号1－1及び2－1は3ページ程度で記載

■外部研究者への支援を実施するにあたり、申請者側で既に備わっている施設・設備・機器・技術等を「補助事業代表者」及び「補助事業分担者」ごとに記載してください。

■これまでに外部研究者を支援してきた実績等があれば簡潔に記載してください。

## （1）補助事業代表者　○○　○○

＜施設・設備・機器＞

○○

※放射光施設、クライオ電子顕微鏡等のマシンタイムが設定されている施設・設備・機器については、本事業に提供予定のマシンタイム割合を％で記載してください。（例：BINDSに提供予定のマシンタイム割合は90％）

＜技術＞

○○

＜これまでの支援実績等＞

○○

## （2）補助事業分担者　○○　○○

＜施設・設備・機器＞

○○

※放射光施設、クライオ電子顕微鏡等のマシンタイムが設定されている施設・設備・機器については、本事業に提供予定のマシンタイム割合を％で記載してください。（例：BINDSに提供予定のマシンタイム割合は90％）

＜技術＞

○○

＜これまでの支援実績等＞

○○

# 4　研究費の応募・受入等の状況・エフォート

■本補助事業課題の補助事業代表者の応募時点における、（1）応募中の研究費(国内外を問わず、競争的研究費のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費等の研究資金を含む。以下同じ。)、（2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）、（3）その他の活動について、次の点に留意し記載してください。なお、複数の研究費を記載する場合は、線を引いて区別して記載してください。

■「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を100％とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率（％）を記載してください。（2 事業計画・方法に記載されるエフォートとは算出方法が異なりますので注意ください。）

■「応募中の研究費」欄の先頭には、本研究開発課題を記載してください。

※　必要に応じて行を挿入して構いません。

## （1）応募中の研究費（令和4年1月24日時点）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名）申請者本人への配分予定額（直接経費） | 役割（代表・分担の別) | 令和4年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| ★本補助事業課題★生命科学・創薬研究支援基盤事業（R4～R8） | ○○と△△の相関に関する実験的研究（○○○○） | 代表 | 6,000[18,000] | 20 | （総額　21,000千円）\*研究開発課題全体（直接経費）の総額例）（6,000＋1,000（分担者））×3年 |
| 科学研究費補助金・挑戦的萌芽研究（R4～R5・日本学術振興会） | ○○と△△の□□への依存性に関する調査研究（○○○○）上欄と同様に研究開発代表者の場合、総額を記載 | 代表 | 3,000研究開発期間全体で申請者本人が使用する総額（直接経費）（予定額）[9,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　9,000千円）\* |
| 令和4年度○○財団研究助成金（R4・○○財団） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

## （2）採択されている研究費（実施中の研究費・実施予定の研究費）（令和４年4月1日時点）

（注：本研究開発課題の研究開始年度前に終了する研究費は含みません。）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資金制度・研究費名（研究期間・配分機関等名） | 研究開発課題名（研究開発代表者氏名） | 役割（代表・分担の別) | 令和4年度の研究経費（直接経費）[期間全体の額]（千円） | エフォート(%) | 研究内容の相違点及び他の研究費に加えて本応募研究開発課題に応募する理由 |
| 令和3年度○○財団研究助成金（R3・○○財団 | ●●と□□の研究（○○○○） | 代表 | 1,000[1,000] | 5 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。（総額　5,000千円）\* |
| ○○事業（R3～R5・AMED） | ●●と□□の研究（○○○○） | 分担 | 1,000[5,000] | 10 | 本研究とは▲▲の視点から調査する意味で異なり、本応募研究により統合的に理解が進むため。 |

　\*　（　）内には、研究開発期間全体の直接経費の総額を記載してください。

## （3）その他の活動

エフォート：　50　％

（1）（2）以外の「その他の活動」のイメージ（考え方の整理）

教育　　　　　　　　　エフォート：　20　％

診療　　　　　　　　　エフォート：　10　％

社会サービス　　　　　エフォート：　 5　％

その他（学内事務等）　エフォート：　15　％

★（1）（2）（3）に記載のエフォートの合計が100%となるように記載ください。

# 5　これまでに受けた研究費とその成果等

■本欄には、補助事業代表者及び補助事業分担者がこれまでに受けた研究費（所属機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受け入れている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、（１）【AMED事業】と（２）【それ以外の研究費】に分けて、次の点に留意し記載してください。

■AMED事業とそれ以外の研究費は区別して記載してください。

■それぞれの研究費ごとに、資金制度名、期間（年度）、研究開発課題名、研究開発代表者又は研究開発分担者の別、研究経費（直接経費）を記載してください。また、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果も簡潔に記載してください。

（記載項目）

資金制度名：

期間（年度）：H 年度～H 年度

研究開発課題名：

研究開発代表者又は研究開発分担者の別：

研究開発経費（直接経費）： 千円

研究成果及び中間・事後評価結果：

## （1）【AMED事業】

・AMED　○○事業（A）、H27～H29、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

・AMED　○○事業（B）、H29～R1、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

## （2）【それ以外の研究費】

・基盤研究（B）、H26～H28、「○○に関する研究」、代表者、40,000千円

××××の成果を得た。

# 6　特記事項

■この項目は、AMEDとして概要を把握するために記載していただくもので、別途公募要領に特記事項として条件が付されない限りは、採否に影響はありません。なお、今後のAMED事業運営に資する研究動向の分析等に利用させていただくとともに、研究開発課題が特定されないかたちで（例：事業やプログラムごとの単位等で）分析結果を公開させていただく場合があります。

（1）補助事業課題を進めるうえで、患者・市民参画（PPI：patient and public involvement）の取組を行っている場合、あるいは行う予定の場合には、その計画や実施方法等について記載してください。

（2）本補助事業課題を実施するにあたり、患者等の研究への参加、データ取得等を予定している場合には、その予定される人数（概数で可）を記載してください。

（3）【事業ごとに2.研究計画・方法で記載している項目以外で、研究成果の目安となる数値指標等があれば、記載できるように項目を設定してください。】

例：本研究で得られたデータについて、データベースへの登録やデータシェアリングを予定している場合には、その概要を記載してください。

（4）国内の子会社から国外の親会社に本補助事業課題の成果の承継を予定している場合は、その概要を記載してください。

**（事業ごと）**

## （1）患者・市民参画（PPI：patient and public involvement）の取組について

患者・市民参画の取組：

本研究開発課題にて行う○○の臨床試験のプロトコルを作成するにあたっては、○○の患者団体との対話を通じて、○○に関する患者や家族側の意見を参考にする。

## （2）患者等の研究への参加、データ取得等の予定について

○○についての臨床研究に○名が参加予定。

○○の解析に用いるデータ・サンプルについてｘ名から提供される予定。

## （3）その他の研究成果の目安となる数値指標等について

本事業で得られた結果について、○○のデータベースに登録予定。

## （4）国内の子会社から国外の親会社への本補助事業課題の成果の承継予定について

本事業で得られた結果について、社内規定により海外の親会社に移転予定。

別紙1

要約（英文）

**Summary of Proposal**

\* Please limit this “Summary of Proposal” form to two (2) pages.

 1. Project title

Support of ･･･

 2. Principal investigator

* Name Hanako Iryou
* Gender　 Male[ ]  Female[x]  Other[ ]  Rather not say[ ]
* Researcher ID（8 digits） XXXXXXXX
* Month and year of birth（Age） 19XX / XX（XX：As of April 1,2022)
* Affiliation ZZZZZZ University
* Department Department of YYYYYY
* Position title Professor
* E-mail address ZZZZZZ@YY.jp

 3. Abstract (400 words maximum)

*Outline your research proposal, mentioning the anticipated results, in 400 words or less.*

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○.○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○*.*

 4. Keywords (10 items maximum)

List as many as 10 terms that most likely represent the essence of the proposed research.

1. 　　　　　　 2. 　　　　　　 3. 　　　　　　　4.

5. 　　　　　　 6. 　　　　　　　7. 　　　　　　 8.

9. 　　　　　　 10.

 5. Publication list (10 items maximum)

List as many as 10 peer-reviewed articles published in English in reverse chronological order (most recent first), and specify the most relevant one(s) with an asterisk(s) (\*).

1.

\*2.

3.

4.

5.

6.

7.

8.

9.

10.

別紙1

要約（和文）

**事業提案書要約**

※ 本「事業提案書要約」は２ページ以内に収めてください。

 １．補助事業課題名

△△△△の創出を目指した研究

 ２．補助事業代表者

* 氏名 医療　花子
* 性別 男[ ] 　女[x] 　その他[ ] 　回答したくない[ ]
* 研究者番号（8桁）　 XXXXXXXX
* 生年月（年齢） 19XX年XX月（XX歳：令和4年4月1日時点）
* 所属研究機関 ○○○○大学
* 所属部署（部局） △△△学部
* 役職 教授
* 連絡先（E-mail） ZZZZZZ@YY.jp

 ３．アブストラクト

1,000文字以内で簡潔に記載してください。（期待される成果も含む）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

 ４．キーワード（疾患名以外、10単語以内）

提案内容を示す、適切かつ重要と思われる単語を記載してください。(例：研究手法、使用技術、医薬品モダリティ、生命現象、対象部位（臓器、組織、細胞等）、対象集団（妊産婦、AYA世代など）、実験動物等、の具体名)

1.△△計測　　2.○○合成阻害剤　　3.　．．．．．．

 ５．対象疾患（10個以内）

研究の主題に近いものから順番に、主要な疾患名を10個以内で記載してください。

なお、未診断疾患が対象の場合は「未診断疾患」、具体的な対象疾患が無い又は未定の場合は「対象なし」と記載してください。

1.△△感染症　　2.○○病　　3.□□症候群　．．．．．．

別紙2

**事業課題の主なスケジュール（2ページ程度※で記載）**

**※公募番号1－1及び2－1は3ページ程度で記載**

■目標達成に向けて取り組むべき事業実施項目を、「支援」「高度化」「人材育成」「BINDS司令塔・調整機能としての活動」の４つに分類して挙げ、実施期間を記載してください。

※ マイルストーン：達成しようとする目標の節目となる到達点・達成事項

■項目別のスケジュールや担当者がわかるように記載してください。

|  |
| --- |
| **事業の主なスケジュール（ロードマップ）** |
| 事業実施項目※マイルストーン | 担当者氏名 | 第1年度(R4年度) | 第2年度(R5年度) | 第3年度(R6年度) | 第４年度(R7年度) | 第５年度(R8年度) |
| 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q | 1Q | 2Q | 3Q | 4Q |
| 「支援」 |
| （1） 〇〇関連遺伝子発現解析・発現データ計測支援・発現データ解析支援 | 〇〇〇〇〇〇〇〇 |  |  | ▲マイルストーン：○○○○○○○○ |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （2） 〇〇関連遺伝子発現解析 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 「高度化」 |
| （3） 〇〇関連遺伝子発現解析技術の高度化・アッセイ系の確立 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 「人材育成」 |
| （4） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 「BINDS司令塔・調整機能としての活動」 |
| （5） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| （6） |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

別紙3

**実施体制図（1ページ程度で記載）**

【体制図記載例】

角丸四角形：大学等

楕円：企業

長方形：AMED

点線矢印：契約

二重矢印線：試料・情報等のやり取り、

分担

代表機関、分担機関の組織（所属機関と主たる研究場所が異なる場合については、主たる研究場所についても記載）、体制、連携、協力体制等について体制図を記載してください。各機関の役割がわかるように記載してください。また、補助事業課題の運営・推進及び進捗管理等の体制や方法について記載してください。

補助事業代表者

所属（及び主たる研究場所）

氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

AMED

補助事業分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

補助事業分担者

所属（及び主たる研究場所）氏名

分担する研究内容

「○○○○○○」

解析

データ提供

試料の提供

加工

別紙4

**各年度別経費内訳【詳細版】**

代表機関、分担機関毎に必要となる経費内訳を記載してください。なお、それぞれの経費内訳については、「支援」に要する経費と「高度化＋人材育成＋司令塔・調整機能としての活動」に要する経費を分けて記載してください。

**代表機関（○○大学）**

**「支援」**に要する経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

* 設備備品など、「支援」と「高度化＋人材育成＋司令塔・調整機能としての活動」に跨がる使用が想定される場合は、使用割合に応じて按分して計上してください。
* 赤枠の積算根拠となった令和4年度支援予定一覧を別紙5で作成ください。
* 本欄に記載された直接経費の小計が、「支援」に要する経費の基準額となります。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の10%以内） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の10%以内） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

**「高度化＋人材育成＋BINDS司令塔・調整機能としての活動」**に要する経費　　　　　　　（単位：千円）

**分担機関（○○大学）**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |
| 一般管理費※（上記経費の10%以内） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

**「支援」**に要する経費　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

* 分担機関においても一般管理費を計上される場合は、代表機関及びすべての分担機関へ計上される一般管理費の合計額が、事業費（直接経費）総額の10%以内に収まるよう調整のうえ計上してください。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 大項目 | 中項目 | R4年度 | R5年度 | R6年度 | R7年度 | R8年度 | 計 |
| 直接経費 | 1.物品費 | 設備備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 2.旅費 | 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 3.人件費・謝金 | 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 謝金 |  |  |  |  |  |  |
| 4.その他 | 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 委託費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |
| 小計 |  |  |  |  |  |  |
| 一般管理費（上記経費の10%以内） |  |  |  |  |  |  |
| 合計 |  |  |  |  |  |  |

**「高度化＋人材育成＋BINDS司令塔・調整機能としての活動」**に要する経費　　　　　　　　（単位：千円）

別紙5

**令和4年度支援予定一覧（3ページ程度※で記載）**

**※公募番号1－1及び2－1は4ページ程度で記載**

代表機関及び分担機関において支援を予定している案件について、支援内容・件数と支援に要する経費等をできる限り詳細に記載してください。

※本一覧に記載された支援内容・件数が、令和4年度の達成目標値となりますので、正確に記載してください。（達成目標と達成実績の乖離が大きかった場合は、翌年度の配分額の査定対象にもなりますので、支援予定は正確に見積もりください。）

※本一覧に計上された合計額が、「支援」に要する経費の基準額となります。

※採択決定後は、配分額の減額に伴う計画変更の場合を除いて、本一覧に記載された内容の修正等は認められません。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| No. | ①支援内容 | ②支援に要する時間（１件あたり） | ③支援に要する経費※注１（１件あたり） | ④支援の難易度（１～５） | ⑤支援予定件数 | ⑥支援に要する時間の小計（＝②×⑤） | ⑦支援に要する経費の小計（＝③×⑤） |
| 代表機関（○○大学） |
| 1 | ○○に対する○○技術を使った○○の支援 | ○○時間 | ○○千円 | 3 | ○○件 | ○○時間 | ○○千円 |
| 2 | ○○に対する○○と○○の提供による支援 | ○○時間 | ○○千円 | 1 | ○○件 | ○○時間 | ○○千円 |
| 3 |  |  |  |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |  |  |  |
| 分担機関（○○大学） |
| 5 |  |  |  |  |  |  |  |
| 6 |  |  |  |  |  |  |  |
| 7 |  |  |  |  |  |  |  |
| 8 |  |  |  |  |  |  |  |
| **合計**⑩⑨ | ○○件⑧ | ○○時間 | ○○千円 |
| 支援1件あたりに要する時間の平均値（=⑨÷⑧） | ○○時間 |
| 支援1件あたりに要する経費の平均値（=⑩÷⑧） | ○○千円 |

※注１　「③支援に要する経費（1件あたり）」の単価は、代表機関は直接経費のみ、分担機関は直接経費＋一般管理費により算出したものを使用してください。【分担機関に配分される委託費（一般管理費を含む）は、代表機関の直接経費の一部とみなすため】

* 青枠の金額は、別紙4の赤枠の金額と一致させてください。
* ④の支援の難易度には、下記の基準に対応した数値（１～５）を記載ください。

**難易度１**：同様のサービス（支援）を提供する外部業者が国内外に存在する。
**難易度２**：同様のサービス（支援）を提供する外部業者は国内外に存在しない。アカデミアにおいて確

立された技術と設備を用いれば、日本の複数の研究機関において支援することができる。
**難易度３**：①同様のサービス（支援）を提供する外部業者は国内外に存在しない。アカデミアにおいて

確立された技術と設備を用いれば支援することはできるが、日本で支援することができる研

究機関は1機関（自施設）のみである。

もしくは、

②同様のサービス（支援）を提供する外部業者は国内外に存在しない。支援には新たな技術

開発・技術改良が必須の状況にあり、それが成功してはじめて支援することができる段階に

ある。技術が確立されれば既存の設備を用いて支援することができ、日本の複数の機関にお

いて支援することができる。
**難易度４**：同様のサービス（支援）を提供する外部業者は国内外に存在しない。支援には新たな技術開

発・技術改良が必須の状況にあり、それが成功してはじめて支援することができる段階にあ

る。技術が確立されれば既存の設備を用いて支援することができるが、日本で支援すること

ができる機関は1機関（自施設）のみである。
**難易度５**：同様のサービス（支援）を提供する外部業者は国内外に存在しない。支援には新たな技術開

発・技術改良が必須の状況にあり、それが成功してはじめて支援することができる段階にあ

る。加えて、新たな設備の導入も必要な段階にあり、日本で支援することができる機関は現

時点では存在しない。